



🌻 第2回学校運営協議会開催 🌻

7月9日（木）に第2回学校運営協議会が本校で行われました。今回は10名の委員の方々に御出席をいただきました。**前半は**、5名ずつ2グループに分かれて小学部、中学部、高等部それぞれの授業の様子を参観していただきました。小学部では自立活動、音楽の授業に児童が元気に生き生きと取り組んでいる様子が見られました。中学部の作業学習では、全クラスの生徒がそれぞれの作業班に分かれて、担当の先生方から熱心な指導を受け、集中して作業する姿を見せてくれました。高等部では生活単元学習と道徳の授業を参観していただきました。道徳の授業では、人との関わり方や自然の素晴らしさについてDVDの鑑賞をするなどして真剣に学んでいました。教室に入ると、子どもたちからの「こんにちは！」という元気な声が委員の皆さんの耳にとび込んできます。とても気持ちよく授業を参観することができました。



授業を参観する委員の皆さん

後半に入り、音楽室で協議が行われました。これまでの活動中間報告の後には、小学部と中学部主任から、これから行う授業について地域の方々への支援依頼がありました。具体的には、小学部が取り組んでいる「地域の祭」研究に関して、話をさせていただいたりお囃子の指導をしていただける方がいたら紹介していただきたいというものです。また、中学部では、作業学習で取り組んでいる「缶つぶし班」で使用する空き缶の提供のお願いと、体育の授業で今年度から取り組む「相撲」競技の講師紹介です。いずれも、地域の商工会や住民の皆さんの御協力をいただきながらすすめていくことができそうです。今年度は学校運営協議会設置3年目になり、授業の内容にも外部人材の積極的な支援を取り入れていければと思います。

最後の40分は今回の協議会のテーマになっていました「**令和2年度の学校評価アンケート**」の内容審議が行われました。学校側からの参加者も含め18名を2グループに分け、グループ討議のかたちで行いました。今年度は、アンケートの項目や内容を大幅に変更したこともあり、その内容について活発な意見交換がなされました。



保護者アンケートについては、保護者の方々により分かりやすく答えやすい内容にするために、委員の方々から貴重な御意見をいただきました。今回の協議会は内容が盛りだくさんだったこともあり、意見をまとめあげるところまでできませんでしたが、12月のアンケート実施に向けてこれから内容を整理していきたいと思えます。当日は、会場の後ろ側に、高等部のニードルワーク班の生徒が作製したこぎん刺しとさをり織りのトートバックが展示され、委員の方々による人気投票も行われました。人気のある色や柄、デザインをリサーチしながら、今後の授業での取り組みに生かしていきたいということでした。委員からは、生徒たちが作製したこのような作品を巡回展示などをして広く紹介してから販売するようにした方が、より森田養護学校のことを知ってもらえるのではないのでしょうか、という意見も出されました。



意見交換をする委員の皆さん

今回は、短い時間ではありましたが、とても有意義な協議会になりました。委員の皆さま、たいへんありがとうございました。次回は10月2日（金）に参加者を少し増やして、「熟議」というかたちの意見交換会を開催する予定です。

鯨ヶ沢町災害時応援協定締結



九州をはじめ各地で豪雨による災害が発生し、多くの人々の命が奪われ、そこで暮らす人々の日常生活がことごとく失われていく様子が連日新聞やテレビで報じられています。これまでは考えられもしなかったような、人々の予想をはるかに超えた災害がいつ発生したとしてもおかしくはない状況の中で、常に備えておくことが求められるようになりました。

本校は、西北地区唯一の特別支援学校として、大規模な災害が発生した時に、地域においてどのような役割を担うことができるのか、学校運営協議会が設置された2年前から模索してきました。鯨ヶ沢町との間で合間の避難訓練をこれまでも実施してきたこともあり、今年度は正式に協定を締結し、障害のある方の二次避難所としての機能を果たすことになりました。今後は具体的な避難所の設置場所の検討や、避難してきた方への人員配置、食事などの必要物資の確保など締結した内容をより具体的に整理していくこととなります。

本校の児童生徒の安全・安心を第一に考えながらも地域との連携を大切にしながら今後も歩んでいきたいと思えます。



鯨ヶ沢町の平田町長と本校木村校長、本校職員